

# 感染生物学特別講演会 II

演題：レジオネラ病原性の分子基盤

演者：永井宏樹

大阪大学微生物病研究所附属感染症国際研究センター  
准教授

日時：2015 年2 月10日（火） 17:00-18 : 00

会場：医学学系棟 4 階 4 A 411室

要旨：

レジオネラは広く環境中に分布するグラム陰性桿菌ですが、一旦ヒトに感染すると致死性の肺炎を引き起こします。この病原性を担うのは、レジオネラ全タンパク質の約一割を占めるエフェクタータンパク質群およびこれを輸送する IV 型分泌系です。我々はこれまでにレジオネラで最初のエフェクター-RalF をはじめとして、多数のエフェクターを同定しています。その一つである LubX は別のエフェクターを標的として機能することが示された初のエフェクターで、これは既存のエフェクターの定義を覆すものでした。一方、IV 型分泌系はレジオネラ以外でも多くの細菌感染症において中心的な役割を果たしていますが、その実体や作動機序はほとんどわかっておりません。最近、我々は細菌病原性に必須な IV 型分泌系として初めて、細菌内外膜を貫通しチャネルを形成するコア複合体の単離・解析に成功しました。本セミナーでは、このようなレジオネラ病原性の分子基盤についての我々の研究についてお話させていただきたいと思っております。

連絡先：筑波大学医学医療系 野口雅之（内線 3750）